

ナイス

3月号
vol. 181



あとの社会科

特集

第6講 歴史 —— 南津守

ひとなの 社会科

第6講 歴史——南津守

昔、使った教科書をパラパラめくってみると、あの頃には気づけなかった面白さがみえてみた——そんな経験はないだろうか。学校の教科書は昔と同じではない。だから、大人になってからの学び直しも決してムダではないはず。学校に通っていた頃を思い出して、もう一度、目の前に広がる社会を学び直してみませんか。

淀川の分流である木津川は、古来より大阪の主要な船舶出入路として繁栄した。江戸時代には北前船をはじめ諸国の廻船が盛んに往来し、沿岸の港は大いに賑わったという。

1832(天保3)年、幕府は

舟運の安全確保を目的に、木津川の河岸に防波堤として大規模な石堤を築いた。全長は約1.6キロ、現在でいうと、南津守の千本松大橋から住之江区の新木津川大橋までの範囲にある。「千本松」と呼ばれる著名な景勝地となつた(①・②)。その絶景は天橋立や三保の松原と並び称されるほどだったという。人々はここで潮干狩りを楽しんだり、川面に屋形船を浮かべて釣りや酒宴に興じたりもした。

西成一大正間を結ぶ渡船の歴

史は、この頃すでに始まつていた。当時は有料、個人経営で世襲の家業だったらしい。大阪府は1891(明治24)年に「渡船営業規則」を定め、営業時間や料金の統一を図る。さらに1907(明治40)年には、危険防止のため大阪市営に変わった。

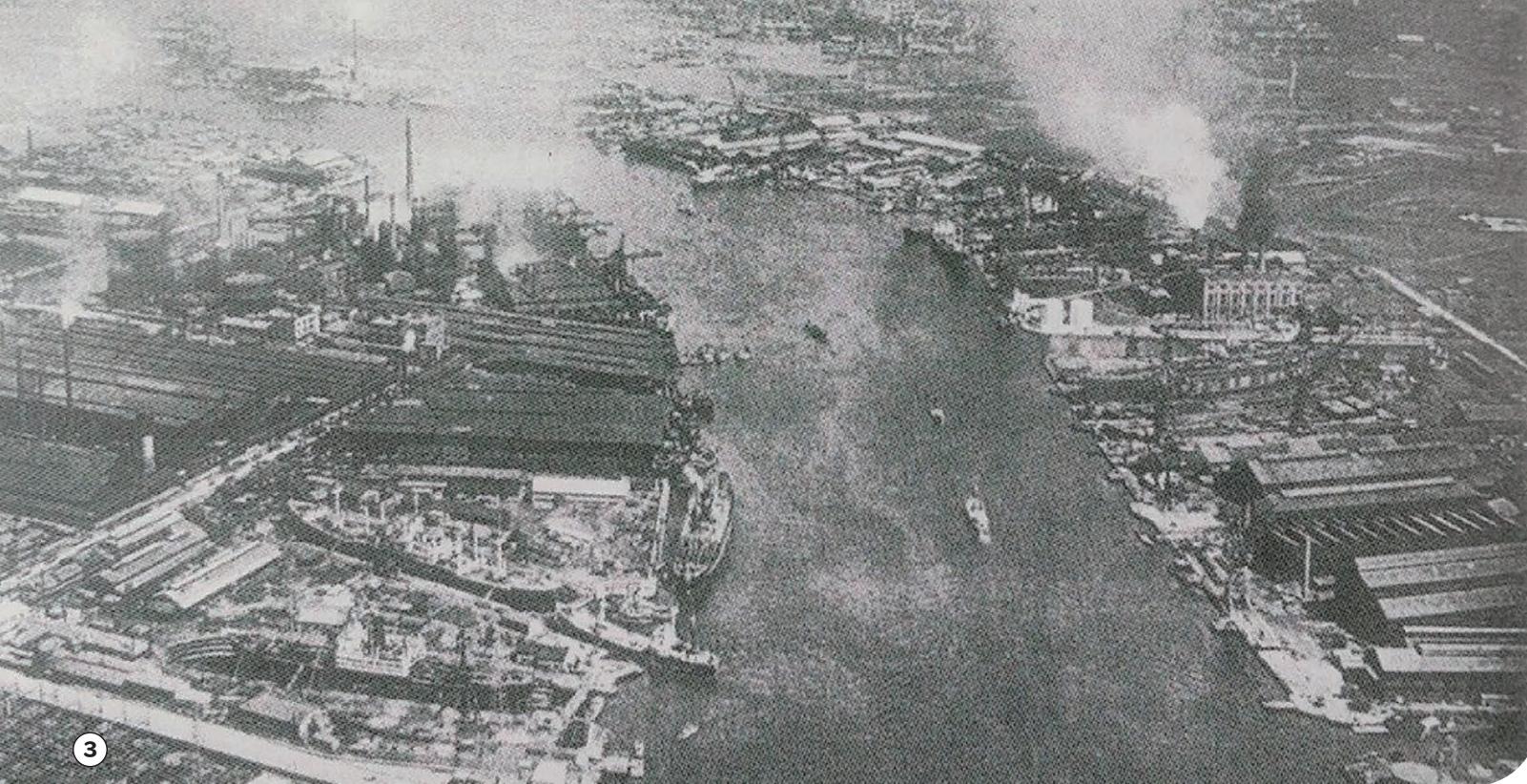
戦争と造船

明治から大正にかけて、見渡す限り田畠が広がつていた南津守にも、都市化・工業化の波が押し寄せる。1914(大正3)年に第一次世界大戦が始まると、欧米の商品輸出は停滞し、入れ替わりに日本製品の輸出が急増。その後数年にわたつて空前の好景気に沸いた。大阪はこの間に重工業の分野で大きく躍進、中でも造船業は、戦争による世界的な船舶不足のため急激に成長する。水運の良い木津川筋には造船所の開業が相次ぎ、一帯は

約50社の工場が林立する「造船の街」へと変貌を遂げた(③)。この過程で用地確保のために千本松は伐り倒され、消失していく。

千本松の跡には、佐野安造船所、名村造船所、藤永田造船所が、市内の他地域から工場を移した。隣り合つ3つの造船所は「川筋3社」と呼ばれ、木津川筋の中心的存在だった。労働環境の過酷さは有名で、「鬼の佐野安、地獄の名村、情け知らずの藤永田」と揶揄されるほどだったといふ。

海軍の直営工場だった藤永田造船は、小型の軍艦である駆逐艦の建造を多く手掛けたことで知られた(④)。1941(昭和16)年に太平洋戦争が開戦すると駆逐艦の需要は高まり、増産体制に入った。この時期、佐野安造船も軍需工場の指定を受け、海軍に買収されるなど、造船の



3

在りし日の「造船の街」。左右両岸に建造中の大型船が並ぶ



明治時代と現在の千本松。石堤はコンクリートに変わった



千本松と渡船



夜の千本松大橋と千本松渡船。橋を渡るのが大変なため、渡船の利用客は多い

街路は光の洪水となる。
夜の南津守を訪れたのは2月
の初め頃。見かけたバス停の標
識には「造船所通」と書かれて
いた。もとは1968(昭和43)
年までこの地を走っていた大阪
市電三宝線の停留場だった。木

海に筋が裏返る前に、日に
100本以上のバスが発着した
というが、現在は60本以下に減っ
ている。

サノヤス造船脇の道を、木津
川に向かって歩いた。夜の工場
街は人影もなく静まり返ってい
る。壁のように高い堤防を越え
て水辺に降りると、「めがね橋」
こと千本松大橋が天高く架かつ
ていた(⑥)。橋の下には、大正

渡船の乗り場がある。橋の開業と同時に廃止される予定だったが、利用客の強い要望により一転、存続が決まった。それからもう5年になる。

繁栄の裏側にある、果てしなく深い闇。貨物船で運ばれて来た異国の人々は、深い夜の底を流れる川の音を聞いただろうか。歴史という大きな物語からこぼれ落ちた小さな声は、誰にも聴き取られることなく、今も木津川の底や、遠い異国の海の底で眠っている。



昭和初期の藤永田造船。木工切組工場での作業風景を写したもの

街は戦争の拠点となっていく。
当時の藤永田造船は約
1万6000人の従業員を抱
えていたが、その中には多数の
朝鮮人や中国人が含まれてい
た。中国人の場合は、4万人近
くが貨物船で日本に連行され、
1410人が大阪に配置された。
その内160人が藤永田での過
酷な労働に従事し、5人が命を
落としている。

藤永田造船が終戦までに建造した駆逐艦は56隻に及ぶが、その大半は米軍の攻撃によって、南太平洋や台湾、フィリピンなどの海底に沈んだ。藤永田の工場も1945(昭和20)年6月の第2次大阪大空襲で大部分が焼失。当時、大阪市内に31カ所あつた渡船も、その多くが被災し廢止された。

斜陽の街

木津川の河口部は古くから大型船の頻繁な航行のために橋が架けられなかつた。そうした陸上交通の不便を解消するため、南津守と大正区の南恩加島を結ぶ千本松大橋が1973(昭和48)年に開通する。ループ橋にす

衰退、およそ6年続いた造船の街としての歴史は静かに終わりを迎えた。

ゴルフセンターと物流倉庫が建
てられ、往時の面影はない。



名村造船の跡地。経済産業省の近代化産業遺産に認定されている

まで松並木が続いた。昔はあの辺りで、川面は夜をそのまま飲み込んだようになっていたはずだ。

に着いた。21時30分発、今日の最終便である。家路を急ぐ待合客の姿が見えた。どのような時代であれ、人々の小さな営みは続く。全員が自転車を押して乗り込むと、船はゆっくりと岸を離れて行つた。低いエンジン音が冬の張りつめた空気に響く。操縦席の上に光る航海灯が、対岸にいる見えない誰かに合図を送つてゐるように見えた。

に着いた。21時30分発、今日の最終便である。家路を急ぐ待合客の姿が見えた。どのような時代であれ、人々の小さな営みは続く。全員が自転車を押して乗り込むと、船はゆっくりと岸を離れて行つた。低いエンジン音が冬の張りつめた空気に響く。操縦席の上に光る航海灯が、対岸にいる見えない誰かに合図を送つて いるように見えた。

文責・福井龍磨・若松司

街は戦争の拠点となつていく。

藤永田造船が終戦までに建造

などとで高さを確保し、大型船

5



森口さんと店舗担当の野渕さんがお忙しい中、時間を取ってくださった。まずは会社について尋ねてみると、MNETは一IT系の会社だということだった。ホームページがオシャレで充実しているのも納得だ。でも、なぜスイートポテトを購入するの? なぜスイートポテトを購入するの?

ツのお店をすることになったのか。森口さんは、元々飲食に関心があつたそうで、あるときに「自分たちでやつてみよう」となったそうである。そのフットワークの軽さに感心した。

HOKU HOKUの店舗はテイク

アウト用の造りになっていて、かなり

シンプルだ。メニューはバニラアイス

クリーム、ハニー・バター、クレームブ

リュレ(一番人気)、チーズ&バジル、

チーズ&ケチャップの5種類。いずれ

もサツマイモを丸々一つ使っている

のでボリューム満点。旬に合わせてサ

ツマイモの鉛柄(ブランド)を変えてサ

ーと美味しかった。取材当日にいただ

いたのはチーズ&バジル。正直に言う

と、食べる前は焼き芋にチーズってど

うなんだろうと身構えたが、イタリア

秘訣だ。

実は取材に伺う前にハニー・バターを試しにいただいた。まさにおやつにピッタリの一品、蜂蜜と焼き芋の自然な甘さにバターの絶妙な塩加減が効いて美味しかった。取材当日にいただ

いたのはチーズ&バジル。正直に言う

と、食べる前は焼き芋にチーズってど

うなんだろうと身構えたが、イタリア

HOKU HOKU
住所: 西成区千本南1丁目22
営業時間: 11時~19時
TEL: 06-6616-7080
定休日: 不定期
備考: UberEats・出前館対応店



Instagram

文責: 山村裕太



[田岡秀朋] 過去の冬季五輪開催都市の2月平均気温は1920-40年代が0.4度。21世紀は6.3度とえげつない温暖化らしい。金とエネルギーをかけた人工雪の五輪。この負の連鎖どないかならんかな。



[谷口円] 最近ネットで見かけた「セ・バ両リーク制覇」という言葉。セクハラ・パワハラのどちらもする人のことらしい。ネットにはうまいこと言う人がたくさんいて感心します。

にしなりきく

西成にもまだまだ発掘されていない文化資源・社会資源は存在するはず。これら西成産のモノやコトを「にしなりもん」と名づけ、その由来やエピソードを辿っていきます。

西成発の焼き芋スイーツ「HOKU HOKU」

さて、問題です。今から約400年前に日本にやつてきて、徳川吉宗の時代に青木昆陽という人が日本全国に広めたとされる食べ物は何でしょうか。答えはサツマイモ。サツマイモは度々ブームが起り、料理にもスイーツにも使える日本で愛されてきた食材の一つだ。栄養も豊富であり、焼き芋になると更にビタミン等が豊富になると特徴がある。

「そういえば焼き芋って最近食べてないな」と思った方。昨年11月にオープンしたての焼き芋スイーツ専門店「HOKU HOKU」をご紹介しよう。場所は国道26号線沿い、大阪メトロ四つ橋線玉出駅と岸里駅の中間あたりにある。私は最強の方向音痴だと自負しているが、サツマイモのような鮮やかな紫色の看板のおかげで、すぐに見つけることができた。

合同会社MNET最高経営責任者の



左はチーズ&バジル。右はクリームブリュレ。



[沖田一志] 人に勧める前に速度と設定を試したかったので、事務所のネット回線をV6サービスに移行。オンラインが増えた影響でネットが遅くなっています。



此事争論

些事でも何でも気にならあれこれ考えてみよう。
いいこと思いつくかもしないし。気づいたら西成に
たどり着いていた、或るオタクのガチ系コラム。

『野球でも偏向報道』

オリックスバファローズのファンになつて7年目。初優勝は嬉しい。本拠地の京セラドームは私の職場から徒歩18分、昨年までは当日でもチケットが買えたので、仕事帰りにすぐに立ち寄れた。毎年負け越してもいつか勝つはずと期待し応援してきた。もう一つの準本拠地である「ほっともっとフィールド神戸」へも年に数回通う。「神戸」という名前なので三宮あたりの便利な場所と思われるかもしれないが、かなり遠い。六甲山系を切り開いた場所に建てられた球場なので標高が高く、駅を降りた時には新緑の香りが漂うほどだ。夏には試合途中に花火の日が設けられ、大阪よりも空気が澄んでいるのでとてもきれいなのだ。

客席もドームよりも選手が近い。控えのピッチャーの練習場が野球場わきに作られているので、試合を観戦しつつも控えの選手が練習するとどちらも気になるというどつち見たらええねん的なファンにとつては贊沢なつくりとなつていて。ピッチャー交代の場面では抑えの選手が出ていく前に必ず誰かが背中をたたき、お水を口に一口含んで出していく儀式を

になつて7年目。初優勝は嬉しい。本拠地の京セラドームは私の職場から徒歩18分、昨年までは当日でもチケットが買えたので、仕事帰りにすぐに立ち寄せた。毎年負け越してもいつか勝つはずと期待し応援してきた。もう一つの準本拠地である「ほっともっとフィールド神戸」へも年に数回通う。「神戸」という名前なので三宮あたりの便利な場所と思われるかもしれないが、かなり遠い。

六甲山系を切り開いた場所に建てられた球場なので標高が高く、駅を降りた時には新緑の香りが漂うほどだ。夏には試合途中に花火の日が設けられ、大阪よりも空気が澄んでいるのでとてもきれいなのだ。

有名な建築家ル・コルビュジエの著書『小さな家』を開いた。それは彼の両親へ贈られた平屋建ての小さな終の棲家で、母親は一〇歳で亡くなるまで健康に過ぎないといふ。この「小さな家」はなんと世界遺産。その理由は、建築家ル・コルビュジエの近代建築への多大な貢献にある。「住宅は住むための機械」という彼の有名な建築思想、近代建築の五原則（屋上庭園・広い窓・自由な外観など）やモデュロール（人体を基にした建築の基準寸法）の提唱、そして低層過密市街地の改善としての超高層ビルへの建て替えや近隣の緑化計画など、その後の「都市計画」への影響はばかり知れない。



節分イベントはコロナ禍で中止になりましたが、自分で作った鬼の面をつけて「はい!チーズ」。鬼は来なかったけど、鬼の的あてゲームで楽しめました。2月はまだまだ寒いけど、子ども達は元気いっぱい♪ 3月はどうかな。



GCC Kids International School



ハナレバナレになつた人とまち。
くらしの窓から、紡ぐヒントを探してみる。

小さな家

有名な建築家ル・コルビュジエの著書『小さな家』

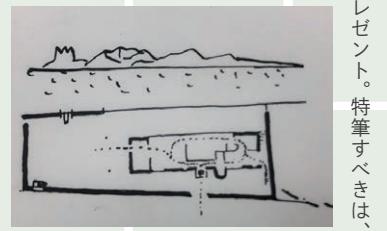
を開いた。それは彼の両親へ贈られた平屋建ての小さな終の棲家で、母親は一〇歳で亡くなるまで健康に過ぎないといふ。

この「小さな家」はなんと世界遺産。その理由は、建築家ル・コルビュジエの近代建築への多大な貢献にある。「住宅は住むための機械」という彼の有名な建築思想、近代建築の五原則（屋上庭園・広い窓・自由な外観など）やモデュロール（人体を基にした建築の基準寸法）の提唱、そして低層過密市街地の改善としての超高層ビルへの建て替えや近隣の緑化計画など、その後の「都市計画」への影響はばかり知れない。

そんな彼が大切な両親へ贈ったプレゼント。特筆すべきは、建物計画を前提に、最適な敷地を探し求めたこと。彼の思想の合理性は、今日ではとても無機質なものに感じてしまうが、その細部への計画（気配りやこだわり）には確かな温もりがある。

社会が縮小し変化してゆく中、何が大切か、そんなヒントが込められた一冊。

（安田拓也）



敷地探しに持ち歩いた、図面と理想の風景スケッチ



間近で見ることができる。「そんな当たり前なことを」と思われるかもしれないが、野球中継では紹介されない野球あるあるを見近で見ることができるのが楽しい。

ただ、駐車場はかなりの台数が駐

車できるが出口が狭く、最後まで観戦した後に出庫すると二時間も待たされ、真夜中に自宅に到着した経験がある。あの時は翌日の仕事がつらかった。観戦するなら公共交通機関の利用をおすすめしたい。

昨年5月末から行われたセパ交流

戦でオリックスバファローズが優勝

したあたりからいつもどちらがうと

思っていたが、まさか優勝まで登り詰めるとは思わなかつた。コロナ禍でいつも以上に自宅にいる期間が増え、毎試合を観戦し本当に感動した。

選手の皆さん、監督、コーチほんま

に素敵な試合をありがとうございました。

関西にはもう一つ、超人気球団の阪神がある。両チームともCSにあがり関西対決で盛り上げようと「両チームの優勝を」という声が多く寄せられたが、私的には堪忍してほしかった。というのも地元メディアの偏向報道が目に余る。朝の地元

情報番組では必ず阪神の試合結果が真っ先に紹介される。負けた試合でもナイスプレーやピンチをぐぐり抜けた的な紹介がこれまで、オリックスバファローズの選手がそれ以上の凄いプレーをしても勝ち試合でも、毎日紹介されることも皆無だ。「まあそんなやいやい言わんでも」と阪神寄りの方は思われるかもしれない。しかし、今回は優勝した。対戦相手はヤクルトだ。残念ながら負けてしまつたが、「接戦でめちゃくちゃ面白いですやん」という声が私も届くほどいい試合が続いた。

今回ばかりはこちら寄りの応援を

と期待していた。がしかし、テレビ

ではアナウンサーが「これが阪神の選手だつたら…」と続け、またまた偏向報道は続いた。期待していた私がバカだつた。残念。



[安田拓也] 年度末はなんやかんややっぱり忙しいですね。とは言いつつ、少し先に琵琶湖疊水の桜並木を見るべくサイクリングを計画。まだ肌寒いと思うので、錢湯でも入って帰ろうっと。



[福井龍磨] 本誌の取材で、南津守の木津川沿いを何度も訪ね歩いた。「東洋のマンチェスター」、「煙の都」、「大大阪」…。この街がそんな名前で呼ばれていた時の、夢の残骸がいくつも落ちていた。



[西原真美] 最近スマホで漫画を読んでいますが、紙媒体と違って外で暇つぶしなどにはお手軽感はあるけど、やっぱりあれですね、紙媒体が一番だと実感します。

地域の縁をひでつなぐ

松崎の 心の時間

老夫婦に「今度の五十回忌はお祝いの法事なのでお赤飯をお供えしよう」と伝えると「なぜ私たちの子供の五十回忌がお祝いなのか?」との質問。私は次のように申しました。

何事においても、一生の中で五十年続けることは困難なことです。亡き子供を「大切に思う」が故に「切ない」時間を過ごしましたことでもあります。

この老夫婦は悲しい「思い出」を五十年間忘れませんでした。悲しい「思い出」は私にもいくつかあります。「忘れない」ことが今日の原点になつた「思い出」もあります。もちろん「忘れる」ことで前を向いて生きる方法もあります。それでも私はこれからも「忘れない」を大切にしたい。「忘れない」「大切に思ふ」「切ない」は人を「強く」「優しく」に変えてゆく言葉に感じます。

松向寺 通法

ココドコ

ここはドコ?
わたしはダーレ?
編集部が厳選した
「にしなり100景」
大公開!

工事中の建物の骨組み。作っている途中なのか、解体している途中なのか…長い間このままの状態です。ココがドコだかわかった人は、ゆ~とあいの受付まで!正解者にはドリンク無料チケットをプレゼントいたします(先着10名様限り)。回答期限は3月末日、ふるってご回答ください!

【先月号の答え】千本南2-12-25にある「千本南公園」でした!日時と共にまつりした時間を過ごしてみるのも良いかも。



2022年1月撮影

ゆ~とあい

にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆ~とあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか?お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび3月号(vol.181)

発行日:2022年3月1日(創刊日:2007年1月1日)

発行:株式会社ナイス

住所:大阪市西成区長橋3-6-33

電話:06-6563-1156

E-mail:info@nice.ne.jp

url:<http://www.nice.ne.jp/>

編集長:若松司

編集:沖田一志、田岡秀朋、西田吉志、西原夏美、福井龍磨、安田拓也、山村裕太(あいうえお順)

イラスト:hidarimaki デザイン:谷口円

facebook: <https://www.facebook.com/navi.nishinari/>

